

# しゅうろうしえんすいしんぶかい 就 労 支 援 推 進 部 会

## 平成29年度の主な活動実績

- ★ 運営委員会の開催
- ★ 各種研修会の開催
- ★ 各チームの活動

### 活動概要

<p>29年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員会の開催 (5月19日、8月28日、12月19日、3月6日)</li> <li>・ 定例会・学習会の開催 (5月19日)</li> <li>・ 各チーム (事業提案、研修、広報) の活動</li> <li>・ JC-NET ジョブコーチ養成研修の開催 (8月3日～8月8日)</li> <li>・ 企業セミナーの開催 (10月6日)</li> <li>・ 就労支援員養成研修レベル3の開催 (11月14日、15日)</li> <li>・ 発達障がい背景にある大学生・専門学校生の就労支援ワークショップ (発達障がい者支援センターおがる共催：11月17日)</li> </ul>
<p>30年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度3回程度の運営委員会の開催</li> <li>・ 各チーム (事業提案、研修、広報) の活動・再編</li> <li>・ 定例会・学習会の開催 (4月27日-WEST19)</li> <li>・ 在宅就労セミナーの開催</li> </ul>

- ・ 企業セミナーの開催
- ・ 就労支援養成研修レベル4の開催
- ・ JC-NET ジョブコーチ実践フォーラムの開催
- ・ 発達障がい背景にある大学生・専門学校生の就労支援ワークショップ（発達障がい者支援センターおがる共催）
- ・ 教育委員会との連携会議
- ・ ハローワーク管轄（ハローワーク札幌、ハローワーク北、ハローワーク東）による情報共有・連携会議
- ・ 札幌市のデータを活用した就労系事業所から一般就労比率の増大
- ・ 就労継続B型調査

部会運営で工夫していることや困っていること

平成30年度より、より多くの構成員の意見を部会活動に反映させることと、ネットワークの形成も含めて、就業・生活相談事業所（就業・生活支援センター含）を中心に、ハローワーク管轄ごとの連携会議を行う事としています。

# そうだんしえんぶかい 相談支援部会



## 平成29年度の主な活動実績

- ★ 部会運営と具体的活動内容の共有。
- ★ 各相談室の違いの共有。
- ★ 企画推進室での研修会実施によるスキルアップ。
- ★ 課題調べシートによる課題抽出。
- ★ 各種会議体への参加による市内の関係機関情報の共有。

## 活動概要

<p>ねんど 29年度</p> <p>かつどうじっせき 活動実績</p>	<p>★部会運営と具体的活動内容の共有。</p> <p>⇒事務局会議、エリア会議、定例会を3ヵ月毎に回すサイクルだったが、エリア会議、定例会で議論を深めるために事務局会議はほぼ毎月開催となった。</p> <p>外部機関からの意見聴取、役割理解については議論が深まらず、再度部会の長期目標、中期目標を部会内で共有。次の活動に進めていくことに。</p> <p>★各相談室の違いの共有。</p> <p>⇒課題調べシートまでに至らない「こんな時どうしてる？」をエリア会議で議論。各相談室の対応の違いや感覚の違いを共有。現状の確認と分析。今後はそれらを解決していくための手立てを検討。</p>
--	---

	<p>★企画推進室での研修会実施によるスキルアップ。</p> <p>⇒精神科からの地域移行支援、記録の書き方、重心児の相談支援の3研修実施。指定相談支援事業所も含めて参加者増加傾向。</p> <p>★課題調べシートによる課題抽出。</p> <p>⇒継続して行っている活動。単に運営会議に上げるのではなく、課題1つ1つをエリア会議で議論する中で深め、各相談室での捉え方の違いや情報格差などの現状認識を共有。</p> <p>★各種会議体への参加による市内の関係機関情報の共有。</p> <p>⇒協議会運営会議、専門部会連絡会、子ども部会、共生社会推進協議会、さっぽろ障がい者プラン計画検討会議、児童発達支援センター地域支援検討会議、などの各種会議体の情報共有。</p>
<p>ねんど 30年度</p> <p>かつどうよてい 活動予定</p>	<p>・単年度で実現可能な目標、計画作成を行い、1つ1つ実績を積み上げていく。</p> <p>・現状の確認、分析を行う中で、全市的に改善の手立てを検討していく。</p> <p>・各相談室に部会活動の内容が積みあがるような、情報の蓄積、更新の体制を作っていく。</p>
<p>ぶかいうんえい くふう こま 部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<p>・エリア会議（4エリア）の小規模の会議を行うことで、実質的で活発な議論ができています。</p> <p>・エリア会議、定例会で議論が積み上げられるように、事務局会議を頻繁に開催して論点を整理を行っている。</p>	

# こ ぶかい 子ども部会

## 平成29年度の主な活動実績

- ★ 「医療的ケア児の支援」の研修会を開催(10/19)－児童発達支援センター研修と共催
- ★ 子ども発達支援者支援力向上セミナーを2回開催(計90名参加)
- ★ 「重心・医療的ケア児支援」「児童入所施設の課題」について部内学習会を開催
- ★ 社会的養護関係者事例検討会及び研修会を開催
- ★ 教育・福祉・医療の連携に関するプロジェクト終了－子ども部会で継続、協議
- ★ 「医療的ケア児支援検討会」の設置に向けて準備を行なう
- ★ 子ども部会ニュース第6号を発行

### かつどうがいよう 活動概要

<p>ねんど 29年度</p> <p>かつどうじっせき 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回、定例会を開催(6/13, 9/5, 12/5, 2/23)</li> <li>➤ 部会内で課題整理を行い、活動方針を検討、作成</li> <li>➤ 事務局会議にて事前に論点を検討、整理</li> <li>・社会的養護、重心・医療的ケア児、訪問系支援の各グループ及び教育・福祉・医療の連携プロジェクトチームで定例会を開催</li> <li>・子ども発達支援者支援力向上セミナー(2回、計90名参加)を実施</li> <li>・社会的養護関係者事例検討会及び研修会を開催－9/6:事例検討会, 1/26:「社会的養育ビジョン」について－講師 松本伊智朗氏(北海道大学)</li> <li>・「重心・医療的ケア児支援」「児童入所施設の課題」の部内学習会を開催</li> <li>・障がい福祉課と協同し「札幌市医療的ケア児支援検討会」の設置を検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 札幌市医療的ケア児支援検討会事務局として準備</li> </ul> </li> <li>・次期障がい者プラン作成にむけて部会内で意見集約し提案</li> </ul>
--	--

	<p>さつぼろしこ こそだ かいぎ いいん さんかく いけんていあん          ・札幌市子ども・子育て会議に委員として参画し、意見提案</p> <p>さつぼろしやう ほこじどうたいさくちいききやう ぎ かい さんか こ          ・札幌市要保護児童対策地域協議会にオブザーバーとして参加し、子ども</p> <p>ぶかい しょうかい せつめい          部会を紹介、説明</p>
<p>ねんど 30年度</p> <p>かつどうよてい 活動予定</p>	<p>はったつし えん かかわ かくしゆかい ぎ かいさい たてよこ れんけい じゆうじつ そくしん          ・発達支援に係る各種会議を開催し、縦横の連携の充実を促進</p> <p>こそだ そうだん しゆうろうなど ぶしよ そうご いけんこうりゆう じゆうじつ          ・子育て・相談・就労等の部署との相互の意見交流の充実</p> <p>はったつし えん かかわ かいぎ きやうさい けんしゆうかい かいさい          ・発達支援に係る会議と共催し研修会を開催</p> <p>しゃかいてきやうご ひつやう こ し えん かない けんしゆうかいおよ じれいけんとうかい かいさい          ・社会的養護の必要な子の支援とその課題の研修会及び事例検討会を開催</p> <p>こ そだ し えん しゃかいてきやうご ひつやう こ し えん かんけい          ・子どもの育ちの支援や社会的養護の必要な子どもの支援について関係</p> <p>きかん いけんこうかん おこな ていあん          機関と意見交換を行い提案していく</p> <p>いりやうてき じしえんけんとうかい じむきよく れんけい きやうりよく          ・「医療的ケア児支援検討会」の事務局として連携、協力していく</p> <p>きやういく ふくし いりやう れんけい かかわ けんとうかい ぶかいない じっし          ・教育・福祉・医療の連携に係る検討会を部会内で実施</p> <p>かくく ちいき こ ぶかいかつどう じゆうじつ し こ ぶかい れんけいきやうか          ・各区における地域子ども部会活動の充実と市子ども部会との連携強化</p>
<p>ぶかいうんえい くふう こま          部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<p>たほうめん いけん はんえい とうじしゃ ほごしゃ かんけい ぎやうせいかくぶしよ          ・多方面からの意見が反映できるように、当事者（保護者）や関係・行政各部署から</p> <p>さんか え うんえいいん こうせい くふう きやうぎ すず          の参加を得るなど、運営委員の構成を工夫し協議を進める</p> <p>はったつし えん かか げんきやう はあく どりよく ぶかいない がくしゆう いけんこうかん せつきよくてき おこな          ・発達支援に関わる現況の把握に努力し、部会内で学習や意見交換を積極的に行う</p> <p>ぶかいかいさいまえ じむきよくかいぎ じゆうじつ たほうめん いけん と い ぎあんさくせい おこな          ・部会開催前に、事務局会議を充実させ、多方面の意見を取り入れ、議案作成を行う</p> <p>はったつし えん かかわ かいぎ かつどう けんしゆうかいとう じゆうふくぶぶん せいり          ・発達支援やネットワークに係る会議や活動、研修会等での重複部分を整理する</p> <p>せんもんぶかいかん いけんこうかん じやうほうきやうゆう きかい せつきよくてき かつやう          ・専門部会間の意見交換、情報共有の機会を積極的に活用する</p> <p>じどうはったつし えん じぎやうしよ おお みとお きやうつう ふじゆうぶん          ・児童発達支援の事業所が多く、またライスステージを見通した共通システムが不十分</p> <p>きかんどうし ぶかい れんけい じゆうぶん と し えん しつ もんだい のこ          で、機関同士や部会との連携が、十分に取れない。また、支援の質の問題が残され</p> <p>る</p>	